

令和3事業年度

決 算 報 告 書

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

国立大学法人長崎大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	17,908	18,987	1,079	(注1)
施設整備費補助金	2,767	2,667	-100	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	2,905	7,102	4,197	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	41	41	-	
自己収入	36,793	37,042	249	
授業料、入学料及び検定料収入	4,723	4,708	-15	(注4)
附属病院収入	31,524	31,585	61	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	546	749	203	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,098	6,644	1,546	(注7)
引当金取崩	855	843	-12	(注8)
長期借入金収入	268	246	-22	(注9)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	1,402	875	-527	(注10)
計	68,037	74,447	6,410	
支出				
業務費	54,823	49,020	-5,803	
教育研究経費	21,609	21,201	-408	(注11)
診療経費	33,214	27,819	-5,395	(注12)
施設整備費	3,076	2,954	-122	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	2,541	6,724	4,183	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,098	4,623	-475	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,499	2,461	-38	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	68,037	65,782	-2,255	
収入-支出	-	8,665	8,665	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいなかった特殊要因経費及び基幹経費の追加交付があったこと、並びに前年度からの繰越額が見込額より多額となったことにより、予算金額に比して決算金額が1,079百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、(坂本)基幹・環境整備(給排水設備)工事等において、前年度からの繰越額が見込額より減額となったことにより、予算金額に比して決算金額が100百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった新型コロナウイルス感染症関連の補助金の交付等があったことにより、予算金額に比して決算金額が4,197百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金378百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注4)授業料、入学金及び検定料収入については、予算段階との人数差異等により、予算金額に比して決算金額が15百万円少額となっております。

(注5)附属病院収入については、新型コロナウイルス感染症の影響によるPCR検査収入の増加等により、予算金額に比して決算金額が61百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、予算段階で見込んでいなかった新型コロナワクチン職域接種に係る費用請求及び講習料等の増加により、予算金額に比して決算金額が203百万円多額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の受け入れ増加等により、予算金額に比して決算金額が1,546百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、PCB処理引当金取崩が発生しなかったこと等により、予算金額に比して決算金額が12百万円少額となっております。

(注9)長期借入金収入については、(医病)ライフライン再生(構内交換設備等)工事及び(医病)ライフライン再生(無停電電源装置等)工事の事業計画変更により、予算金額に比して決算金額が22百万円少額となっております。

(注10)目的積立金積立金取崩については、附属病院院内環境整備及び医療機器整備等事業の事業計画変更等により、予算金額に比して決算金額が527百万円少額となっております。

(注11)教育研究経費については、効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が408百万円少額となっております。

(注12)診療経費については、新型コロナウイルス感染症関連の診療稼働の増加に伴う医薬品費及び診療材料費の増加等により多額となる要因があったものの、新型コロナ関連補助金による診療経費の補填や目的積立金の事業計画変更等により、予算金額に比して決算金額が5,395百万円少額となっております。

(注13)施設整備費については、(注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が122百万円少額となっております。

(注14)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が4,183百万円多額となっております。

(注15)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究や寄附金等の繰越の増加により、予算金額に比して決算金額が475百万円少額となっております。

(注16)長期借入金償還金については、利率が見直され支払利息が減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が38百万円少額となっております。